

笠岡東中、東岡山工高V

里庄でロボットコンテスト 71チームが熱戦



工夫を凝らしたロボットを操作する生徒たち

中高生が手作りロボットの性能やアイデアを競う「ロボットコンテスト2016」が28日、里庄町里見の里庄中学校体育館で開かれた。32校から71チームが出場し、中学校部門は笠岡東中の「也の三連戦」、高校部門は東岡山工業高の「東工1号」が優勝した。

中学（20校48チーム）、高校（12校23チーム）とも予選と決勝トーナメントを行い、生徒たちは自慢のロボットを操作。木製ブロックやペットボトルなどを、ロケットや国際宇宙ステーションをイ

メージした形に積み上げ、高さなどを競った。コンテストは、里庄町出身の物理学者仁科芳雄博士（1890～1951年）を顕彰して科学振興仁科財団と町教委が開き、24回目。他の主な成績は次の通り。（かっこ内はロボット名）

中学校 ②里庄（Strong）③笠岡東（スナイパー）桜が丘（桜中A）▽高校 ②おかやま山陽（おかやま山陽3号）③同（同1号）高梁城南（城南電気1号）▽仁科独創賞 桜が丘中（桜中A）高梁城南高（城南電気1号）▽アイデア賞 井原中（しぐれ）笠岡西中（Gamers+）笠岡高（千鳥）
（美濃政友）